東連携型小中一貫校　　第5号 令和6年1月

コミュニティ・スクール通信

東連携型小中一貫校
学校運営協議会
（東クローバー）

「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」を開催いたしました！

東中生徒会より発表（全体会）

地域の皆様には、日頃より東連携型小中一貫校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。冬休みが明け、３学期のはじまりとともに、子どもたちが寒空に負けず元気に登校している姿がみられるのも、地域の方々からのご支援やご協力があってからこそであり、改めて感謝を申し上げます。

さて、昨年１１月２９日に「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」を開催しましたので、その内容をお知らせします。

今回の懇談会について

いじめのない地域づくりを目指し、学校・家庭・地域で共有する活動指針である「ＥＡＳＴ子育てアクションプラン」（各校ホームページに掲載）の効果的な活用について熟議しました。今年度よりＰＴＡと共催して、学校運営協議会と教員、地域（区長会、民児協、青少推、更生保護女性会）の皆様に加えて、保護者の皆様にも大勢参加いただき、約９０名で開催されました。

昨年と同様に、「東連携型小中一貫校のいじめの現状と取組」を学校より説明し、「児童生徒の取組」を東中学校の生徒会本部役員が発表しました。それらの説明・発表を受けて参加者がグループごとに分かれて熟議を行いました。

今回の熟議では「『いじめ撲滅アクショントップ３』を発信し、いじめのない地域をつくろう」をテーマに、「ＥＡＳＴ子育てアクションプラン」の中から、「いじめ撲滅アクショントップ３」を選定しました。

いじめ撲滅アクショントップ3

1.「あいさつ・感謝・思いやり」に関するアクション

〈学校〉あいさつ、感謝、思いやりの大切さを育みます

〈家庭・地域〉大人が率先してあいさつや感謝の言葉を言います

2.「スマホ・ネット」に関するアクション

〈学校〉スマホやインターネットの危険性や正しい使い方を指導します

〈家庭〉ゲームやスマホ、タブレットは「我が家ルール」をつくり、親子で正しく使います

3.「よさを認め、ほめ、伸ばす」に関するアクション

〈学校〉子どものよさを認め・ほめ・伸ばし、やる気を高めます

〈家庭〉子どものよさを認め、ほめ、家庭でのコミュニケーションを大切にします

上記１「あいさつ・感謝・思いやり」については、人間関係を築くための基本であることや、相手意識をもつことで、相手の気持ちを察したり相手に優しくできるようになるので、いじめの未然防止につながるなどの意見が述べられました。

上記２については、スマホやネットが急速に発展している中、ＳＮＳ上でのいじめやトラブルも見られることから、その防止に向けた取組を進めることの大切さなどが述べられました。

上記３については、自分たちの経験や体験から、叱責だけではなく「ほめて、伸ばす」ことが必要で、子どもであっても尊重し、互いの信用と信頼を築いていくことで、子どもの自己肯定感が高まり、自信をもって他者にも優しくできるようになるので、いじめ撲滅につながるなどの意見が出ました。

学校・家庭・地域、それぞれの場面において、上記の「いじめ撲滅アクショントップ3」に積極的に取り組み、いじめのない地域をつくっていきましょう。